

議会だより



主な内容

- ◆ 第3回、第4回臨時会及び第5回定例会での審議内容及び結果一覧…… 2ページ
- ◆ 審議結果一覧…… 6ページ
- ◆ 市政を問う、一般質問…… 8ページ

■今号の表紙■

世界三大花木である『ジャカランダ』。平成25年6月1日から6月30日まで、「道の駅」なんごうを中心に『ジャカランダまつり』が開催されました。

《発行者》

宮崎県日南市議会 平成25年9月1日発行
〒887-8585 日南市中央通一丁目1-1
電話：0987-31-1142 (直通)
FAX：0987-31-1778

第3回臨時会

市長選挙後の初議会である第3回臨時会は、平成25年5月14日に開催されました。
市長提出議案である人事案件4件（いずれも同意）、報告4件について審議しました。

人事案件

■日南市教育委員会の委員の任命について（二名）

「教育委員」 黒木 康英氏（飢肥）
八木真紀子氏（吾田）

■日南市監査委員の選任について（一名）

「監査委員」 米良 憲之氏（油津）

■日南市公平委員会の委員の選任について（一名）

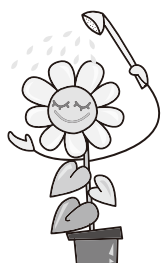
「公平委員」 河野 秀昭氏（吾田）

第4回臨時会

平成25年度の
国保税率可決！
副市長選任
について同意！

第4回臨時会は、平成25年5月31日に開催されました。

平成25年度の国民健康保険税の税額確定のための「日南市国民健康保険条例の一部を改正する条例」や「平成25年度日南市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）」のほか、「副市長2名の選任」、「県立日南農林高等学校校跡地の財産取得」など、市長提出議案6件を審議し、いずれも可決されました。



補正予算の概要

■平成25年度日南市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
今回の補正は、日南市国民健康保険条例の一部を改正する条例に基づいて算定した保険税等の補正を行うもので、補正額は375万円の増額で、補正後の予算総額は、82億8千75万円となります。

条例

■日南市、南那珂郡北郷町及び同郡南郷町の廃置分合に伴う地域自治区の設置に関する協議により定められた事項を変更する条例
地域自治区の区長に代えて事務所の長を置くことに伴い、地域自治区の設置に関する協議により定められた事項を変更する必要があるため、条例を制定するものです。

■日南市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険事業の健全な運営を図るため、平成25年度国民健康保険税の税率等の改定を行うものです。



その他

■日南市副市長の選任について
新たに2人の副市長選任について、議会の同意を求めます。

田中利郎氏
稲本龍生氏

■財産の取得について

企業誘致の用地として、宮崎県立日南農林高等学校校跡地を財産として取得するものです。

【国民健康保険税の税率】

所得割	医療保険分	9.70%
	後期高齢者支援金分	2.50%
	介護保険分	2.80%
資産割	医療保険分	22.00%
	後期高齢者支援金分	5.60%
	介護保険分	6.80%
均等割	医療保険分	25,800円
	後期高齢者支援金分	6,800円
	介護保険分	9,200円
平等割	医療保険分	20,100円
	後期高齢者支援金分	5,000円
	介護保険分	5,000円

※平等割については、特定世帯以外の世帯の金額を掲載。

第5回定例会

平成25年度 一般会計補正予算 などを可決!!

第5回定例会は6月24日から7月17日までの24日間開催されました。

平成25年度一般会計補正予算をはじめとする市長提出議案及び議員提出議案などあわせて26件を審議しました。(審議結果につきましては、6、7ページの「審議結果一覧」をご覧ください。)

報 告

- 日南市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について
- 北郷町温泉協会の経営状況を説明する書類の提出について
- 宮崎建設労働者研修福祉センターの経営状況を説明する書類

の提出について

平成24年度の決算報告及び平成25年度の事業計画を、地方自治法の規定により、提出するものです。

■平成24年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

防災拠点施設整備事業など、22件の歳出予算を翌年度に繰り越したことに伴い、地方自治法施行令の規定により、繰越計算書を作成し、報告するものです。

■平成24年度簡易水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について

坂元簡易水道施設整備事業の歳出予算を翌年度に繰り越したことに伴い、地方自治法施行令の規定により、繰越計算書を作成し、報告するものです。

■平成24年度公共下水道事業会計予算の繰越報告について

公共下水道事業について、地方公営企業法の規定により、建設改良費の繰越額について報告するものです。

■平成24年度一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について

現年補助災害復旧事業(耕地)の歳出予算を翌年度に繰り越したことに伴い、地方自治法施行令の規定により、繰越計算書を作成し、報告するものです。

補正予算の 主な事業

■高齢者交通安全緊急対策事業

〔200万円〕

近年の高齢者交通事故増加に対処するため、運転に不安を持つ高齢者(65歳以上)が運転免許証を自主的に返納される際、本年度限りの緊急措置として1万円分の市内公共交通機関の利用助成を行うものです。

■消費者行政活性化基金事業

〔400万円〕

近年、増加している「送りつけ商法」や「ハイハイ商法」などの悪質商法被害に対応するため、各種啓発活動を行うほか、消費生活相談員を配置し、市民の相談や被害解決などの支援強化を図るものです。

■コミュニティ活性化促進事業

〔740万円〕

住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、地域の連携及び住民自治の環境を整えるため、宝くじ助成金を財源としてワイヤレス放送設備等の備品を整備するものです。

■こども医療費助成事業

〔2053万9千円〕

こども医療費助成対象を、10月診療分より小学校校修了(12歳)までとするものです。

■地域力磨き上げ応援事業

〔1168万7千円〕

果樹生産者の高齢化や後継者不



消費生活相談員の金岡氏

足により耕作放棄地の増加が懸念される中、生産者の所得向上を目的として、オリーブ栽培の実証事業を実施し、生産者が収穫から加工まで一貫して行う「6次産業化」の構築を目指すものです。

■6次産業化等支援事業

〔2263万円〕

農林水産物を活用し、生産から加工・製造、流通・販売までを生産者等が総合的に取り組む「6次産業化」を支援し、地域経済の活性化を図るものです。

■みやざき次世代果樹ブランド産地育成強化事業

〔177万1千円〕

温州みかんに根域制限栽培施設を設置するとともに、一体的にマルチ灌水設備を整備することで、消費者の求める高品質果実を生産し、新たな果樹ブランドの創出を図るものです。

■活動火山周辺地域防災営農対策事業

〔2754万円〕

活動火山周辺の地域において、降灰による農作物被害を防止し、農業経営の安定を図るための施設

整備を支援するものです。

■農村活性化支援事業

〔600万円〕

法定外公共物等における農業生産基盤の改修や補修について、地域の労力提供により実施するものに対し、原材料費や重機賃借料を助成するものです。

■農道簡易舗装事業

〔230万円〕

農道舗装を行うことで、農産物運搬時の荷傷み防止、走行経費及び維持管理費の削減を図り、農業経営の安定を図るものです。

■新開排水機場改築更新事業

〔1億5480万4千円〕

建設から22年が経過し、老朽化が著しい新開排水機場の排水ポンプ等更新整備を県営土地改良事業として実施することに伴う県への負担金です。



改築更新箇所の新開排水機場

■有害鳥獣被害防止対策事業

〔512万8千円〕

近年の野生鳥獣の個体数増加による被害の深刻化、広域化に対応するため、集中的かつ効果的な被害対策を緊急的に実施するため、緊急捕獲のための交付金を支給するものです。

■緑の産業再生プロジェクト事業

〔4億8890万円〕

木材生産コストの低減や供給体制の確立及び木質バイオマスエネルギー導入を促進するため、事業体を実施する高性能林業機械の導入や施設整備に対し助成するものです。

■木質バイオマス林業振興事業

〔5000万円〕

森林伐採時に発生する未利用材の有効活用により林業の振興を図ることを目的として、木質バイオマスを活用した発電事業を行う事業体に対し支援するものです。

■カツオフォーラム事業

〔1000万円〕

「かつお」をテーマとした全国規模のフォーラムを実施し、併せて「日南カツオ・マグロ祭り(仮称)」を同時開催することで、水産業の活性化を図るため助成するものです。

■漁港事業負担金

〔1400万円〕

市内漁港の岸壁改良や、緑地整備の県営事業に対する負担金です。

■県南産業フェア開催事業

〔600万円〕

毎年開催されている「みやざきテクノフェア」を本市に誘致するとともに、県南地域のすべての産業が一同に集結した地域産業イベントとして同時開催する「県南産業フェア」を支援するものです。

■ 鉄肥杉住宅新築促進事業

〔6067万1千円〕

市内事業者を支援するとともに、鉄肥杉の利用促進による地域経済の活性化と住環境の向上等を図るため、新築住宅等の建設を促進するため助成するものです。

■ 新エネルギー普及啓発事業

〔1004万5千円〕

新エネルギーを利用したクリーンなまちづくりを推進するため、住宅用太陽光発電システム設置者への助成を行うものです。

■ にちなん鉄肥杉空間づくり事業

〔157万5千円〕

鉄肥杉の需要拡大を図るため、市内事業所・店舗等の内装木質化に対し、25万円相当の鉄肥杉材を提供するものです。

■ 中心市街地魅力発掘事業

〔333万5千円〕

中心市街地における集客力の向上、中心市街地の資源を活用した経済効果の創出を図るための調査研究を支援するものです。

■ 地域資源マーケティング推進事業

〔608万7千円〕

県が取組むフードビジネス推進事業と連携し、儲かる農林漁業を推進するためのものです。

可決された

主な条例

■ 日南市乳幼児医療費助成に関する条例及び日南市母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

子育て支援施策の充実を図るため、こどもの疾病等の早期治療による健全な発育の促進を目的に、乳幼児医療費助成対象者を小学生までに拡充することに伴い、所要の改正を行うものです。

■ 日南市子ども・子育て会議条例

例

子ども・子育て支援法第77条第1項の規定に基づく審議会として、日南市子ども・子育て会議を設置するとともに、その組織等に関し必要な事項について、条例で定めるものです。

■ 日南市公園条例の一部を改正する条例

都市計画法第32条の規定による協議に基づき、寄附採納のあった乙姫ニュータウンの公園について、その名称、位置及び供用開始の期日を定めるものです。

【議員提出議案】

■ 日南市の地元本格焼酎による乾杯を推進する条例

本市の特産品である本格焼酎による乾杯の習慣を広めることにより、本格焼酎の普及を通じた焼酎文化の理解及び本市特産品の育成並びに振興を図るため条例で定めるものです。

委員会審査から

付言された主な意見・要望

■ 議案第61号 平成25年度日南市

一般会計補正予算(第1号)

「予算審査特別委員会」

・市有財産管理について、南郷ハートフルセンター等の駐車場不足の公共施設については、慎重に取り組みとともに、代替地も含め

た駐車場の確保に努められたい。
・学校林等基金活用事業について、今後、学校施設の修繕料については、公平性の観点により、一般財源を充当するよう検討されたい。

■ 議案第68号 日南市公園条例の一部を改正する条例

「建設水道委員会」

障がいのある皆さんも安全に利用できるよう、今後の施設管理に努められたい。



審議結果一覧

平成25年第3回臨時会、第4回臨時会及び第5回定例会の審査結果を掲載しております。

番 号	議 案 名	審 議	結 果
		委 員 会	本 会 議
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて	—	原案承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて	—	原案承認
報告第3号	専決処分の報告について	—	終 了
報告第4号	専決処分の報告について	—	終 了
議案第51号	日南市教育委員会の委員の任命について	—	原案同意
議案第52号	日南市教育委員会の委員の任命について	—	原案同意
議案第53号	日南市監査委員の選任について	—	原案同意
議案第54号	日南市公平委員会の委員の選任について	—	原案同意
議案第55号	日南市副市長の選任について	—	原案同意
議案第56号	日南市副市長の選任について	—	原案同意
議案第57号	平成25年度日南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第58号	日南市、南那珂郡北郷町及び同郡南郷町の廃置分合に伴う地域自治区の設置に関する協議により定められた事項を変更する条例	—	原案可決
議案第59号	日南市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第60号	財産の取得について	原案可決	原案可決
陳情第28号	社会福祉法人大樹会の有料老人ホーム設置反対に関する陳情書	不採択	不採択
報告第5号	日南市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提出について	—	終 了
報告第6号	北郷町温泉協会の経営状況を説明する書類の提出について	—	終 了
報告第7号	宮崎建設労働者研修福祉センターの経営状況を説明する書類の提出について	—	終 了
報告第8号	平成24年度日南市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	終 了
報告第9号	平成24年度日南市簡易水道特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—	終 了
報告第10号	平成24年度日南市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—	終 了
報告第11号	平成24年度日南市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について	—	終 了

番 号	議 案 名	審 議 結 果	
		委 員 会	本 会 議
議案第61号	平成25年度日南市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第62号	平成25年度日南市農業集落排水特別会計補正予算(第1号)	原案可決	原案可決
議案第63号	日南市特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第64号	日南市常勤の特別職の職員等の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第65号	日南市水防協議会条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第66号	日南市乳幼児医療費助成に関する条例及び日南市母子及び父子家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第67号	日南市子ども・子育て会議条例	原案可決	原案可決
議案第68号	日南市公園条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第69号	日南市職員の給与の臨時特例に関する条例	原案可決	原案可決
議案第70号	日南市水道局企業職員の給与の臨時特例に関する条例	原案可決	原案可決
議員提出議案第32号	日南市の地元本格焼酎による乾杯を推進する条例	—	原案可決
陳情第10号	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情	不採択	不採択
陳情第11号	無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3万円の支給を求める陳情	不採択	不採択
陳情第12号	年金受給資格期間の10年への短縮を求める陳情	不採択	不採択
陳情第13号	0.4%の年金引き下げをもとに戻すとともに、物価指数低下による年金引き下げを行わないことを求める陳情	不採択	不採択
陳情第24号	年金2.5%の削減中止を求める陳情	不採択	不採択
陳情第26号	国による地方公務員の給与削減措置を講ずる要請に対する意見書提出を求める陳情書	継続審査	継続審査
陳情第27号	生活保護制度の見直しに関する意見書提出を求める陳情書	不採択	不採択
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意

インターネットで議会の一般質問などのようすを見ることができます。

日南市議会

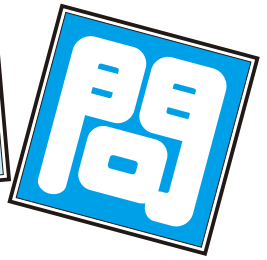
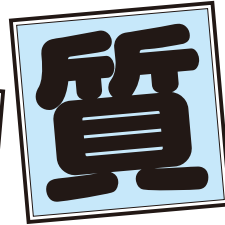
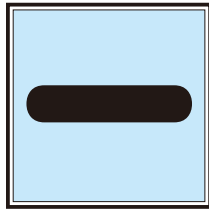
検索



本会議は、簡単な手続きで
議会を傍聴できます。
ぜひ、傍聴にお越し下さい。

議会をもっと身近に

市政を問う!



平成25年第5回定例会における「市政に対する一般質問」は、7月4日から9日まで(休日を除く)の4日間行われ、18人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をたどしました。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会議会棟1階にある議会図書室にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。

詳しくは、日南市議会事務局(電話:0987-31-1142)までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

- ①黒部俊泰 議員 [防災について、市政創造計画について、大樹会の進出計画について]
- ②鈴木教夫 議員 [市長の政治姿勢と市政運営について、公共事業について、国の直轄事業による交通網整備について]
- ③前田幸雄 議員 [フッ化物洗口について、高齢者の肺炎球菌ワクチン公費助成について]
- ④和足恭輔 議員 [市長の政治姿勢について、西明寺(南郷町目井津地区)の参道の踏切設置について、大樹会が計画している高齢者専門住宅と介護事業について]
- ⑤井福秀子 議員 [市長の政治姿勢について、生活保護問題について、交通安全対策について、民間による自転車場外車券売り場の設置計画について]
- ⑥中尾貞美 議員 [市長の政治姿勢について、学校教育のあり方について]
- ⑦濱中武紀 議員 [市長の政治姿勢について、農林漁業対策について、中部病院について、子育て支援について、国道220号の防災対策について]
- ⑧谷口慎二 議員 [観光振興について、産業振興について、教育行政について]
- ⑨川越昇 議員 [市長の選挙公約について、地域活性化対策について、大課制への移行について、道州制と置県130年について]
- ⑩福岡浩一 議員 [市長の政治姿勢について、入札制度について、教育行政について]
- ⑪山田一 議員 [市長の政治姿勢について、防災対策について、子育て支援について]
- ⑫甲斐登 議員 [市長の政策を問う]
- ⑬松本弘 議員 [市長の政治姿勢について、人口減少と農林水産業の推進について]
- ⑭深川保典 議員 [部長制廃止について、市長の所信表明の「活力ある産業・地域の創出」について、市長の所信表明の「将来を担う次世代の育成」について、市長の所信表明の「市役所改革」について]
- ⑮坂元啓一 議員 [市長の政治姿勢について、漁業に関する諸問題について]
- ⑯磯江純一 議員 [市長の政治姿勢について、市政活性化について]
- ⑰川口和也 議員 [市長の公約・所信表明から、情報化の推進について、中山間地の振興策と防災について]
- ⑱山本定則 議員 [医療対策について、大島振興について、教育問題について、人口減少対策について、空き家対策について、防災対策について]



公明党日南市議員
黒部 俊泰 議員

防災について

(問) 地域防災計画改定の内容では、「津波避難は、徒歩避難が原則であるが、自動車使用の限界量以下に抑制するように各地域で合意形成を図る」とある。どのように取り組むのか。

(答) 本年度、地区別の津波避難計画を策定する中で、住民の意見を聴き、車での避難の必要性、対象者の把握、避難場所の選定など検討する。

(問) 風田浜の、護岸整備計画の進捗状況はどうか。

(答) 東日本大震災による、甚大な津波被害を受け、新たな津波対策の考え方が示された。県は、堤防整備などの目安となる「設計津波の水位設定」を検討中で、詳細設計は秋以降になる。

市政創造計画について

(問) 本市における職員数適正化の目標は、数値だけ公表している。しかし、佐賀県武雄市や熊本県人吉市の定員適正化計画は、現状分析、類似団体との比較、将来の予測など、ホームページに詳しく公表しており、全国多くの自治体でも、わかりやすく工夫し情報発信している。市長の考えを伺う。

(答) 来年度の、定員適正化のしっかりとした見直しや、「見える化」が、大事と考えている。情報発信にしっかりと取り組んでいきたい。

公共工事について

(問) 国土交通省が、公共工事における基準賃金となる「設計労務単価」を全国15・1%引き上げたことで、市内の建設業にどう反映していくのか。

(答) 本市においても平成25年4月1日以降の工事及び業務委託等の発注について、宮崎県で平均13・3%の上昇となる新「設計労務単価」を適用。このことにより、建設技能労働者の雇環境の改善や経営の安定化、ひいては地域経済全体の活性化に寄与するものと考えている。

国の直轄事業による交通整備について

(問) 国道220号線の小内海から富士(4・5km)北区間の取り組み状況は、どうなっているのか。

(答) 小内海から鷲巣間は、地元との設計協議が進められており、伊比井から富士間については、環境調査や用地幅杭の設置。そして、関係者立ち会いのもと、用地測量や建物調査が実施されている。

(問) 宮浦から風田(11・2km)未採択区間の取り組み状況は、どうなっているのか。

(答) 北区間の整備に併せ、早期事業化の要望を行っている。国の見解としては、北区間の進捗状況を踏まえ、事業化の検討をしていくとのことである。



公明党日南市議員
鈴木 教夫 議員



公明党日南市議員
前田 幸雄 議員

フッ化物先口について

(問) 当初計画では2年間で検討委員会設置。本年度は2年目になるが、計画通りに進めていくのか。

(答) 3回の委員会を開催し、保護者向けのアンケート調査の実施や説明会の開催など具体的施策について検討を進めていく。

(問) アンケート調査時期はいつか。

(答) 小・中学校の保護者へ、9月を予定している。

(問) 保護者等への説明会はあるのか。

(答) 11月以降に計画している。

(問) モデル校の選定はどうするのか。

(答) 小・中学校1校ずつ選定する。

(問) モデル校選定はいつ頃か。

(答) 具体的に決めていない。

(問) 高齢者の肺炎球菌ワクチン公費助成について

(問) 肺炎への予防効果が高いが、65歳以上に対し公費助成はできないか。

(答) 国が予防接種法に基づく定期接種化にしていないうえ、任意接種から定期接種化へ国に要望し、財政負担、医師会の意見を含め、総合的に判断していく。

(問) 75歳以上についてはどうか。

(答) 医師会等の意見を含め判断し、国に対し公費助成を要望していく。

日本国憲法について

(問) 地方自治のリーダーとして、改憲の動きに対する市長の見解を問う。

(答) 制定から67年が経っており、時代に応じた価値観や課題に対するように見直すべきであり、国民をしっかりと巻き込み十分な議論が必要と考える。

西明寺参道の階切設置について

(問) 南郷町目井津の西明寺は、九州88カ所霊場の40番目札所にあたり、近年は県外参拝客が増え、また隣接墓地の墓参者も多く、階切設置の要望が強い。関係者と共にJRへの要望活動に力を入れていただきたいがどうか。

(答) 事故を未然に防ぐ観点から、まずは地元自治会等とも協議したうえで、JR九州宮崎総合鉄道事業部と協議を行いたい。

旧農林高校跡地の事業について

(問) 大樹会が計画する高齢者専門住宅と介護事業には、地元の住宅型有料老人ホーム事業者から不安と反対の声がある。この声をどう受け止めるか。

(答) 地元事業者の不安は理解できる。大樹会は、市外の方に多く入居してもらい、職員の引き抜きはしないとの考えを示されている。市としては大樹会に対して、地元との連携・協議を引き続き持ち、不安の解消に継続して務めていただくよう申し入れをおこなう。



日本共産党日南市議員
和定 恭輔 議員



日本共産党日南市議員
井福 秀子

市長の政治姿勢について

(問)安倍政権は原発の再稼働や輸出を推進している。一度事故を起こしたら人間の手に負えない原発の輸出に対して、市長の考えを聞きたい。

(答)国家戦略として進められており、安易に見解は述べられない。

(問)アベノミクスは大企業には景気のいい話でも、庶民のくらしと中小企業の営業を破壊するものと考えるが、市長の評価はどうか。

(答)まだ景気回復を実感できないが、地方への効果が生じることを期待する。

生活保護問題について

(問)国は8月から3年がかりで生活保護基準を引き下げる。就学援助や税金、福祉などへの影響があるが、国は対応策を示したのか。

(答)現在、国は検討中である。

交通安全対策について

(問)吾田東9丁目の田村踏切周辺は道幅が狭く車両落下の危険がある。水路の側溝整備等を早期にできないか。

(答)他にも計画があり、整備には2、3年かかる。

競輪場外車券売り場の設置について

(問)市は施設設置に反対であったが、それを受け継ぐ考えはないか。

(答)全ての関係者から理解が得られるなら、頭から反対するものではない。

市長の政治姿勢について

(問)人口減対策について、対策の一つとして、特にどういった手法で企業誘致を図られるのか。

(答)IT関連企業や新たな起業家の誘致も含め、企業誘致を図っていく。

観光対策について

(問)日南市全体の観光対策をどのように図るのか。

(答)各都市の宮崎県事務所と連携を深め、テレビ・インターネットなどの宣伝媒体を有効に活用した、情報発信などに力を入れていく。

(問)重要伝統的建造物群保存地区内の整備は、どのように取り組まれるのか。

(答)年次的に整備を進め、保存地区外は、歴史的風致維持向上計画による整備を考えている。

商店街の復活策について

(問)市全体の商店街の活性化策として、各地区の商店街で組織する「商店街連絡協議会」的のものを開催し、多くの商店の意見を集約する考えはないか。

(答)テナントミックスサポート事業のなかで、実施したい。

学校教育のあり方について

(問)スポーツ指導者の不在解消については、どう考えているのか。

(答)要望して働きかける。



改政クラブ
中尾 貞美 議員



改政クラブ
濱中 武紀 議員

市長の政治姿勢について

(問)公約の中で重点施策は何か。

(答)「活力ある産業・地域の創出」を最重要課題と位置付けており、雇用の創出と地域経済の活性化を図りたいと考えている。

農林漁業対策について

(問)業種ごとの対策をどのように進めるのか、基本的な考えを問う。

(答)農業については、販路の確保を行い、付加価値を付けた販売、林業については、飼料加工品についての事業化への支援等、漁業については、水産加工品の販路拡大を図り、6次産業化、農商工連携を推進していく。

中部病院について

(問)中活事業の複合ビル内の医療モール計画があるが、中部病院の経営に影響はないか。

(答)中部病院は、クリニックと診療体制が異なるため、影響幅は少ないと考える。また、それぞれの役割や機能を分担、発揮するための地域医療体制の構築をしていく。

国道220号の防災対策について

(問)北区間の進捗状況はどうか。

(答)平成23年度から国直轄事業として取り組んでおり、今後も「日南防災事業」、「伊比井視距改良事業」を関係機関とともに取り組んでいく。

観光振興について

(問)観光振興に対する考えはどうか。

(答)スポーツキャンプの継続を促進するがこれまでになかった種目の誘致にも積極的に取り組んでいく。

(問)ジャカラング祭り来訪者の推移はどうか。

(答)7万人を超え過去最高となった。

(問)ジャカラング祭りが市内観光地へどのような影響を与えているか。

(答)宿泊で21%の増加となった。

(問)ジャカラングを市の花木として制定する考えはないか。

(答)市の花木として制定することも含めて、検討する。

(問)ジャカラング振興を市が中心となって行う考えはないか。

(答)関係団体と連携を図り、様々な支援を行っていく。

産業振興について

(問)農業の産業振興を図るため、水田の有効活用が必要だと考えるがどうか。

(答)地下水位制御システムの検証を行いながら新たな産地づくりの展開を図っていく。

教育行政について

(問)小中一貫教育について、これまでの考え方と変わらなないか。

(答)現状を踏まえ、見直していく。



新生日南会
谷口 慎一 議員



新生日南会
川越 昇 議員

市長の選挙公約について

(問) 今回の補正予算の中で、市長の選挙公約を反映している事業は何か。

(答) 舩肥杉住宅新築促進事業、地域資源マーケティング推進事業及びこども医療費助成事業である。

(問) できる方法を考える市役所づくりの具体的な内容は何か。

(答) 従来への研修に加えて、全職員を対象とした新たな形の職員研修を早急を実施する。

地域活性化対策について

(問) 市内の均衡ある発展を実現するための市長の考えはどうか。

(答) 過疎化の進む地域を中心に、地域未来創造ワークショップを開催する。

(問) 市内の伝統あるまつり行事の統合など、現状と今後はどうなるのか。

(答) 今後も類似するまつり行事の整理統合を図る一方で、持続可能なまつり行事のあり方を検討する。

道州制について

(問) 道州制導入に対して、市長の考えはどうか。

(答) これまで以上に大都市圏に経済メリットが集中するのではないかと、国からどれだけ権限や財源が移譲されるのか、道州の意思決定システムがどのようなものになるのか、などについて不安を抱いている。

市長の政治公約について

(問) これまでも前市長が対外的にトップセールスを行ってきた。新市長はどんなセールスを行なうのか。

(答) 私は、公約に掲げた4つの柱のうち、特に、活力ある産業・地域の創出を実現することが必要だと考える。そのため、宮崎県庁職員時代の人脈や、全国のネットワークをフルに活用しながら道路、港湾及び産業経済に関連した地域経済活性化や雇用創出に資する事業のセールスを重点的に行なう。

不妊治療助成・風疹予防助成について

(問) 各治療助成と補助事業の具体的な対策についての考え方はどうか。

(答) 不妊治療の助成について今後、効果的な対策を検討する。また、風疹予防助成については、現在、ワクチン接種が全国的に多く、ワクチン在庫不足の傾向にあるため事業期間延長も含めて検討中である。

公設台併浄化槽事業について

(問) 4月から事業が開始されて以来、工事業者や関係団体から、現場代理人の兼務できる件数が2件では事業執行に無理があるとの声がある。どう対応するのか。

(答) 6月末から、工事請負額の緩和と現場代理人が兼務できる件数を3件までと変更した。



緑青会
福岡 浩一 議員



緑青会
山田 一 議員

市長の選挙公約について

(問) 市長が掲げている公約の達成度を今後市民に公表するつもりはあるか。

(答) 私が訴えてきた公約については、具体的な数値目標を掲げていない。従って、達成率を測ることが困難であるため達成率の公表はできない。その代わり、公約に掲げた事業の進捗状況については積極的に市民にお知らせする。

人口増によって市が活性化していくと思うが、市長の主な施策は何か。

(答) 人口増を図るには、人口の流出を防ぐための働く場の確保と出生率を伸ばすための子育て環境の充実を図ることが重要と考える。

防災対策について

(問) 消火栓ボックス内の使用できなくなった備品はどの部所が入れ替えるのか明確でない。市として今後どのように取り組むのか。

(答) 市で設置した消火栓ボックスについては消防本部にて行う。自治会等で設置した消火栓ボックスについては、地元自治会、関係機関と早急に協議する。

子育て支援について

(問) 児童館の午後5時以降の保育延長はできないのか。

(答) 全体的な保育環境の見直しの中で検討する。

少子化防止対策について

(問) 子育てのため様々な事業が展開されているが、更に保育料の減免、医療費助成などの充実はできないか。

(答) 医療費助成を、今回、小学校終了まで対象年齢を引き上げることにより、子育てを側面的に支援する。なお、今後とも、子育て支援の充実を努める。

福祉行政について

(問) 医療費の適正化を図ることにより、健康保険税を抑制することができると。保健師等による指導、啓発等を更に増やす考えはないか。

(答) 市内に「健康にちなん21推進班」を組織し、地域担当の保健師等を配置し活動を展開している。保健師を増やす事については今後検討する。

市役所改革について

(問) 本会議中、課長クラス以上の職員30人程度を、毎回傍聴させている。年間延べ1200人前後になる。即、止める考えはないか。

(答) 今後、管理職の配置については、臨機応変に対応する。

市の活性化対策について

(問) 天福球場の雨天練習場は狭いうえ雨漏りもある。改修の考えはないか。

(答) 今後、既存施設の拡張等を基本に、球団や選手の利便性等も考慮し、整備方針を判断する。



緑青会
甲斐 登 議員



緑青会
松本 弘 議員

市長の政治姿勢について

(問) 市長は10年後、20年後を見据えた市政発展のための基礎固め作りの考えがあるようだが、どのような基盤作りをするのか。

(答) 他の自治体に負けない、力強い地域経済の確立、次世代の育成、安心して暮らせるまちづくりに取り組んで行く。

(問) 市役所に民間人登用とあるが、具体的にどのように進めるのか。

(答) 民間人登用については本年8月に商工観光課に配置する。また、今回の産業・雇用・広報分野に限らず、訴訟処理や電算業務など専門的で緊急性の高い業務については必要に応じて民間活力やノウハウ等の導入を検討する。

人口減少と農林水産業の推進について

(問) 停滞が続く日南市の現状を踏まえ、農林水産業を推進し雇用を生むことにより、人口減少に歯止めがかかると思うが市長の考えはどうか。

(答) 今後の農林水産業の推進を図るためには、行政をはじめ、J・A・漁協・森林組合などの団体や商工業関係団体との連携が不可欠であると考え、農林水産業を推進する上での様々な課題や問題・振興方針等について、関係機関・団体が認識を共有し、一体となった推進体制の確立に努めていく。

部長制廃止について

(問) コスト面、市長の要望も踏まえ一年以内に実現すべきではないか。

(答) 北郷町地域協議会、南郷町地域協議会の理解を得ながら出来るだけ早い時期に廃止したい。

活力ある産業・地域の創出について

(問) 産業・雇用におけるマーケティングの積極的推進とは何を指すのか。

(答) 全国の市場調査をし、商品開発や販促を図るため、マーケティング専門員を商工観光課に8月から配置する。

飼肥杉条例の活用方法を伺う。

(問) 飼肥杉条例の活用方法を伺う。

議員提案条例などで様々な施策に応用し、飼肥杉林業振興を図りたい。

(答) 議員提案条例などで様々な施策に応用し、飼肥杉林業振興を図りたい。

将来を担う次世代の育成について

(問) 大手進学塾との連携も視野に入れ、どのような教育環境整備を図るか。

(答) サマー・スタディ・キャンプ等のニーズに応じ外部講師を招聘したい。

小児医療体制をどう図るか。

(問) 小児医療体制をどう図るか。

(答) 県病院への小児科医の配置は確保されたものではなく、今後「地域医療対策室」を設置し充実に努める。

予算主義から成果主義への転換をどう図るか。

(問) 予算主義から成果主義への転換をどう図るか。

(答) 行政評価制度の取り組みを今まで以上に強化することで意識改革を促す。



日南ルネサンス
深川 保典 議員



日南ルネサンス
坂元 啓一 議員

市長の政治姿勢について

(問) 中心市街地活性化基本計画についての市長の基本的認識はどうか。

(答) 計画事業については、基本的には計画通りに進めていくが、社会情勢や市民ニーズの対応の変化などで適宜事業の追加、見直しをしながら進めていきたい。

(問) テナントミックスサポートマネージャーという長い名称をどう思うか。

(答) 名称については、商店街におけるテナントの誘致や、業種の店舗配置に加え、商業者等をしっかりサポートするという意味を表したものである。長い名称については、今後は略した形でも考え、を使用していきたい。

今年4月の南郷中学校入学式で、檀上に掲揚されていた校旗が、あまりにも傷んでいて驚いた。早速調べたら合併時に作り直さなければならなかったものを、南郷中と榎原小の2校分を忘れていたという返事だった。せめて一刻でも早く新しい校旗にしてあげる事が、政治責任の取り方だと思うが、市長の見解はどうか。

(問) 今年4月の南郷中学校入学式で、檀上に掲揚されていた校旗が、あまりにも傷んでいて驚いた。早速調べたら合併時に作り直さなければならなかったものを、南郷中と榎原小の2校分を忘れていたという返事だった。せめて一刻でも早く新しい校旗にしてあげる事が、政治責任の取り方だと思うが、市長の見解はどうか。

(答) 対応したい。

(問) それではいつまでに作ることが出来るのか。せめて運動会までには出来ないのか。

(答) 間に合うようにしたい。

市長の政治姿勢について

(問) 職員の給与削減をどのように受け止めているのか。

(答) 地方固有の財源である地方交付税を公務員の給与削減の手法に用いることは、誠に遺憾であると感じている。

(問) 中心市街地活性化については、前市長と同じスタンスで取り組まれるのか。

(答) 中心市街地の活性化は必要であり、今後も積極的に進めていく。

(問) テナントミックスサポートマネージャーについては、前市長からの継続事業であるが、不安の声もある。成功させないと責任問題が問われると思うがどうか。

(答) この事業は、中心市街地活性化事業の中でも重要なもので、注目と期待が寄せられているが、効果を疑問視する声や経費に対する批判があることも承知している。また、事業の実施については、大学関係者や専門家等、豊かな知識や経験のある多くの皆様に協力をいただいていることから、成功には大きな期待を寄せている。

市政活性化について

(問) 市政に関心を持っていただくためにケーブルテレビ放送は出来ないか。

(答) 公約としての「見える化」を進めるためにも、ぜひ、実現したい。



無会派
磯江 純一 議員



社民クラブ

川口 和也 議員

ケーブルテレビのエリア拡大について

(問) 山間部で料金も安く、もっとも速いインターネット環境は、ケーブルテレビ網である。ケーブルテレビ網の普及には地域差があり、解消に取り組み考えはないか。

(答) これまでのエリア拡張は、民間主導を原則として行ってきたが、市で実施することも含み、再度、総合的に検討したい。

酒谷地区の新たな避難施設について

(問) 酒谷7区から10区の避難指定施設は、背後に急峻な土地を抱えるなど不安を持っている。地域の願いとして、道の駅酒谷に、新たに施設建設の要望があるが、建設できないか。

(答) 新たな施設建設は、現時点では考えていないが、今後、防災体制の整備を進めていく上で、その他の地域コミュニティ施設などを含めて検討する必要があると考えている。

中部病院の抜本的改革について

(問) 中部病院の抜本的な経営改革とはどういう内容か。

(答) 新たに設置する「地域医療対策室」と連携させ、安定した医師の確保や継続的な診療科の体制、特化した診療体制の整備などの経営ビジョンを策定し、医療体制や事務改善など、全体的な視野で改革に取り組む。

医療対策について

(問) 地域に特化した医療対策室を早急に設置し体制の充実を図るべきだ。市長はどのように考えているか。

(答) 本市の地域医療体制の更なる充実を図るため、10月に地域医療対策室を設置する。対策室は、中部病院の医師や圏域の小児科医の確保に関する。こと、また、医師会や歯科医師会、薬剤師会との連絡調整、さらには、初期中夜間急病センターの利用について市民の皆様にしつかりと理解していただくために市民啓発について担当させたい。

大島振興について

(問) 大島の今後の展望として、観光振興など、どのように考えているか。

(答) 大島は日南海岸国定公園内の美しい海に囲まれた島で、竹之尻、小浜の港周辺では、釣り、磯遊びなど自然を生かした様々な体験ができるほか、亜熱帯性のジャングルが広がる本市の重要な観光資源の一つである。市としては、滞在型の観光施策を進めるため、体験型宿泊施設アドベンチャーキャビンを活用したマリンスポーツやノルディックウォーキング等の新たな体験メニューの確立、あけぼの3の周遊クルーズ、島のフィッシングポイントを県内外にPRしながら、観光客の増加を図りたい。



社民クラブ

山本 定則 議員

特別委員会活動報告

議会改革特別委員会

本特別委員会は、議会の活性化を図り、より信頼され、そして開かれた議会として市民の信託に応えるための議会改革を推進することを目的として、活動しています。

今回7月30日から8月1日にかけて、先駆的な議会改革に取り組まれている千葉県流山市議会（議会基本条例制定後の検証、議会運営全般について）、市川市議会（電子採決システム導入について）、埼玉県飯能市議会（タブレット端末導入について）を訪問し、それぞれの取り組み状況や効果、運営等について、研修を行っています。



千葉県流山市での研修

日南市政総合推進対策特別委員会



国土交通省への要望活動

本特別委員会は、活力ある日南市の創造を推し進め、市民の豊かな生活空間の創出に寄与することを目的として活動しています。

今回7月30日から8月1日にかけて要望活動を行いました。国土交通省や地元選出国會議員、九州地方整備局、宮崎河川国道事務所及び県などに対し、「国道220号防災対策の早期整備及び同国道の直轄管理の継続」、「東九州自動車道の早期整備」及び「重要港湾油津港の港湾整備」について、現状を訴え要望書を提出してまいりました。

議会日誌

(4月から7月・抜粋)

【4月】

- 5日 議会だより編集委員会
- 25日 九州市議会議長会(鹿児島市)

【5月】

- 7日 議会運営委員会
- 13日 長崎県唐津市議会が行政視察のため来訪
- 14日 全員協議会
第3回臨時会開会
- 16日 宮崎県市議会議長会定期総会
- 23日 茨城県神栖市議会が行政視察のため来訪
- 24日 会派代表者会議
全員協議会
議会運営委員会
- 31日 議会運営委員会
全員協議会
第4回臨時会開会

【6月】

- 17日 議会運営委員会
- 24日 第5回定例会 開会
議会だより編集委員会
- 25日 本会議(質疑)

【7月】

- 4日 本会議(一般質問)
- 5日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 委員会
- 17日 第5回定例会 閉会
議会だより編集委員会
- 23日 議会だより編集委員会
- 24日 日南ルネサンス会派視察
(金沢市、新潟市 26日まで)
- 26日 産業経済委員会所管事務調査
- 30日 議会改革特別委員会視察
(流山市、市川市、飯能市 8月1日まで)
日南市政総合推進対策特別委員会要望活動
(福岡市、東京都 8月1日まで)

トピックス

永年勤続議員表彰伝達式が行なわれました

去る5月22日、第89回全国市議会議長会定例総会において、長年にわたり市政の発展に尽くされた功績により、田中重信議員、杉富正議員、井福秀子議員の3名が永年勤続15年以上の表彰を受け、6月24日の本会議開会前に伝達式が行われました。



■平成25年第6回(9月)定例会の予定■

- 9月9日 開会、本会議
- 10日 本会議(質疑)
- 19日 本会議(一般質問)
(19~20日、24~25日)
- 26日 委員会審査(26~27日、30日)
- 10月2日 閉会

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更になることがあります。

■ご意見お待ちしております■

議会だよりに関するご意見・ご要望等ありましたら、下記までご連絡ください。

TEL 0987-31-1142 / FAX 0987-31-1778
E-mail gikai@city-nichinan.jp

編集後記

今年の梅雨明けは例年より早く、暑い日が続くなか、第5回定例会に崎田新市長を迎えました。新市長の「ひとつづくり」を大きなテーマに、市政運営を行うとの所信表明をうけ、一般質問に18人が登壇し、新市長の政治姿勢への質問が相次ぎました。

地方自治は、首長と議会による二元代表制をとっています。

日南市議会は、3月議会で議会基本条例を制定しました。

議会は二つの機能を發揮しなければならぬと言われています。

それは市長の今後の市政運営について、市長及び執行機関とは緊張ある関係を保ちながら、政策決定や事務執行についてのチェック機能であり、「鉄肥杉条例」に見られるような立法機能です。

私たち議会は、これら機能の十分な發揮をめざさなければならぬと考えます。

編集委員会は、開かれた議会をめざし、「議会だより」を、わかりやすく、親しまれる紙面をめざし、編集に努力してまいります。

議会だより編集委員会

副委員長 林 一彦